

JSCA千葉ニュース(夏)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)

〒262-0031千葉県千葉市中央区長州1-14-1 飯島建築構造事務所内

TEL 043(221)5131

FAX 043(221)5133

第5回通常総会、記念講演、 盛況のうち開催される

記念講演は秋山先生による、「エネルギーの釣り合いに基づく建築物の耐震設計」

去る5月14日(火)午後1時からJSCA千葉の第5回通常総会がバーディホテルで開催され無事終了した。

今年度は役員改選の年にあたり、三井建設(株)技術研究所の舛田卓哉氏、戸田建設(株)千葉支店の細川正三氏の二名が、勤務の都合により退任され、後任には飛鳥建設(株)技術本部建築技術開発部の中川三夫氏、京成建設(株)建築本部設計部の齊藤利彦氏が迎えられた。

代表には、現代表の(有)飯島建築構造事務所の飯島氏が再選され、そのほか現役員は留任となった。



通常総会の出席状況・・・やまばら

今年度の議案の中では「JSCA千葉2002年度、2003年度活動方針(案)」が示され、1. 技術の研鑽及び会員資質の向上、2.

対外活動、3. 若手構造技術者の育成及び交流、という三つの方針が掲げられている。特に3番目の方針についてはJSCA千葉のみならずJSCA本部、ひいては日本の構造技術の命運がかかる問題と認識され、飯島代表の決意表明と受け止められている。

JSCA千葉ではその受け皿として技術委員会(市原委員長)を活用するよう呼びかけているところで、すでに数年来の活動を継続している技術委員会では、若手構造技術者の所属長の理解と協力、関係する様々な分野からの支援を熱望している。

第二部として日本大学秋山宏教授による「エネルギーの釣り合いに基づく建築物の耐震設計」と題して記念講演が行われた。構造物の各瞬間の挙動を力と変形の積であるエネルギー単位の時間積分の授受としてとらえようというもので、会員外・来賓を含み70名を超える聴講者数を数えた。(二面に関連記事あり)



記念講演の出席状況・・・ぎゅう詰め

第三部は懇親会で行政、関係他団体、学会会員の来賓から祝辞が述べられ、懇親を深めた。なお懇親会二次会が付近の居酒屋に移動して開かれ、秋山先生がサイン責めにあうシーンも見受けられた。

JSCA千葉役員会議事録抜粋(相山)

役員会	飯島 宏治	第1回 4月24日 (18:00~21:00)	会の報告	建築士事務所協会、千葉県建築家協会、JSCA千葉の4団体。	ニッテツコラム(株)営業技術グループ、参加者リスト:別紙(35名)司会進行係:坂恵氏
代表	真崎 雄一	出席、飯島代表他8名	2)講習会「建築基準法改正に伴う鉄骨造における旧38条認定品・認定工法の取扱いについて」	第3回 7月25日 (18:00~20:00)	2) 役員の担当部署の決定
副代表	齊藤美佐男	1) 決算報告、予算案の承認。	新日本製鐵(株)建材開発技術部の協力により、7月末頃に予定。	出席、飯島代表他10名	総務委員会:向後(会計)・相山
総務委員会	向後 勝弘	2) 総会の開催準備、場所:バーディホテル、日時:5月14日(火)会員受付:12時30分、記念講演:「エネルギー法による耐震設計と今後の展望」秋山宏先生、その他役割分担の決定	3) 千葉県耐震判定協議会の構成団体にJSCA千葉が参画するに当たり、各団体から3人の理事選出につき、JSCA千葉から飯島、向後、明智の3名を選出する。構成団体は、(社)千葉県建築士会、(社)千葉県	1) 「鉄骨造における最新の技術動向講習会」開催日時:平成14年8月1日午後2時30分~4時30分会場:千葉中央ツインビル2号館(千葉商工会議所14階)会費:1000円(資料代含む)講師:新日本製鐵(株)建材開発事業部日鉄建材工業(株)建材開発技術部	会員委員会:青木・服部 研修委員会:真崎・園部・中川 広報委員会:齋藤(美)・安田・坂恵 技術委員会:市原・齊藤(利)
会員委員会	青木 光年	第2回 6月12日 (18:00~20:00)			
研修委員会	服部 信幸	出席、飯島代表他6名			
広報委員会	真崎 雄一	1) 総会、講演会、懇親			
技術委員会	園部 隆夫				
	中川 三夫				
	齊藤 利彦				
	坂恵 一巳				
	安田 良一				
	市原 嗣久				
	齊藤 利彦				

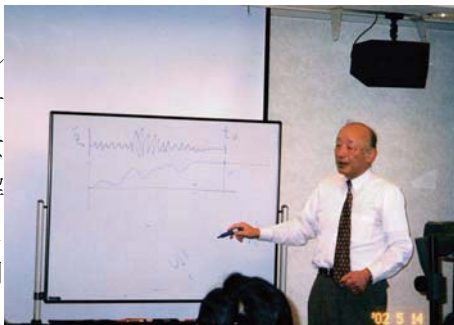


会員レポート 「エネルギーの釣り合いに基づく 建築物の耐震設計」

(有)アルファ技研設計 安田良一

聴講後、あらためて本を開くと扉紙に先生のサインが、したためてありました。2002年5月14日、秋山宏。そういえば私は、懇親会後の二次会で、サインをお願いした数名の会員諸子の一人でした。サインがあると、なんだか急に技術が向上したような気になってきます、えへん。

序章の2. 4に「エネルギーに着目することの意義」として解説があります。やや引用が長くなりますが、「非線形性の挙動を持つ構造物の壊れかたを認識する場合、瞬時の力の釣り合いを表現する運動方程式(映画の一コマを意味する)の両辺に変位増分を乗じ、地震継続時間で積分してエネルギーの釣り合い式を作り、構造物の挙動をエネルギーの授受の観点からとらえる方法が有効である。」これが(2)式です。



$$\int_0^{t_0} M \ddot{y} \dot{y} dt + \int_0^{t_0} C \dot{y}^2 dt + \int_{y(0)}^{y(t_0)} F(y) dy = - \int_0^{t_0} M \ddot{z}_0 \dot{y} dt \dots (2) \text{式}$$

その利点は「積分により情報が集約されること、力と変形の積であるエネルギーというスカラー量が総合化に適していること、地震が構造物に与えるエネルギーは構造物の全質量と主要振動周期のみに依存する安定した量であることが複雑な



懇親会の会場風景

会員委員会定期便

今季の会員の移動はありませんでした。なお委員会では懇親旅行を企画中です。近日お知らせいたしますので、多数の参加をお待ちしています。 会員委員会 青木光年・服部信幸

問題を単純なものにしている。」とあります。まだ定石として理解できない部分もありますが、私は(2)式を眺め、かつてない明解さを感じ、新たにここを出発点にしようと思いました。

さて、JSCA千葉技術委員会では、振動の本が何とか読めるようになることを目標とした、やや逆説的な題名の「誰にもわからない振動解析」を開講中です。(振動学を勉強しようと試みるとき、あまりに難解な本が多いことに驚きを禁じ得ません。解りやすい本が増えることは、はるかに大きな応答エネルギーを喚起するに違いありませんのに。)現在は年内を目途として、「フーリエの冒険」をテキストに5~10名程で、波の性質や解析の基礎的勉強をしていますので、関心のある方は技術委員会にお申し込み下さい。

長い間、振動学は少数の選ばれし者の学問として手つかずの状況にある、私のような技術者も少なくないと考えていますが、外圧という発端があったにせよ、「性能設計へ移行」という時代背景下にある私たちは自らを、自ら選ばぬ限り救済の糸は垂れてはこないと観なければならぬでしょう。

耳に従う還暦にあと数年、天命を知らねばならぬ齢の私ですが、老若男女の差別なき業界に身を置き、若き構造技術者集団の中で、共に学ぶ幸せと、次第に知見が広がってゆく楽しさを、満喫したいと思っています。

2002年度建築構造士試験迫る!

今年の建築構造士資格認定試験が迫ってきました。日程は下記の通りです。

- 1) 受験申込書の受付 8月1日~8月30日
- 2) 受験票の発送 9月中旬
- 3) 面接試験の日時 9月27日(金)
- 4) 筆記試験の日時 9月28日(土)
- 5) 合否の通知 12月中旬

問い合わせ先

(社)日本構造技術者協会
東京都千代田区九段北1-3-5九段ISビル3F
Tel 043-3262-8498 Fax 03-3262-8486
<http://www.isca.or.jp> がんばって下さい

碁の好きな人集まれ!

JSCA千葉の囲碁クラブをつくりましょう。仮名はJSCA千葉梁山泊、いかにも酒が強そう。希望者及び幹事を募集します。
 連絡先(有)アルファ技研設計 安田良一 tel:043-206-3430
 fax:043-206-3440 e-mail:alpha@mbh.nifty.com

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告しています。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。
 広報委員会 齊藤美佐男・坂恵一巳・安田良一

JSCA千葉・園部委員の本部活動

園部隆夫研修委員の本部活動での「鉄骨工事監理チェックリスト」刊行記事が「鉄鋼技術2002年4月号」に掲載されましたので、ご紹介しませす。詳しくは同月刊誌をご覧ください。



鉄骨工事監理チェックリスト

著者 園部 隆夫氏
 株式会社SPC設計コンサルタント代表取締役

1948年8月29日生まれ、茨城県出身。73年日本大学大学院理工学研究科建設工学修士課程修了。同年フジタ入社。98年エス・ピー・シー設計コンサルタント代表取締役。1級建築師、技術士(建設部門)、建築構造士、WES2級、東京理科大学講師、編集者ライセンス。

「オチのないようにバランスよく何をチェックするか、そして過不足なく良否の判断をするためのマニュアルとして、『鉄骨工事監理チェックリスト』がようやくまとまった」

JSCA(日本建築構造技術者協会)として鉄骨工事チェックシートを作成、公表してから7年ほどになる。その間、建築基準法改正の問題があり、基準法関連や鉄骨製作工場の認定制度の改変などへの対応を迫られた。金属系部会監理分科会(内田三雄主査)の幹事として、主査を補佐し作業の推進を計ってきた。

このチェックリスト作成作業にあたっては、「WGメンバーの全員参加で役割を分担、それぞれの経験を共有できるチャンスとし、各章のばらつきがないよう平準化に努めた」「設計で必要とする性能を施工性能に置き換えていくプロセスを確実に確認していくことが必要」と強調、「そのために役に立てば」と、たくさん図書類を用意しなくてもすむように一冊に凝縮、各工程の項目内容が理解されやすいよう体系的に整理し、判定の基準レベルを共通化できるように配慮した。

修士論文は「構造物のねじれを伴う弾塑性応答解析」。フジタでは津田沼サンパテックはじめ東京マツダ築地ビル、大宮ソニックシティ、フジタ本社ビル、文化学園プロジェクトなど鉄骨系の設計・監理や構造一貫設計プログラムの開発などにも携わってきた。「鉄骨のすばらしさは、キチンと作り込みさえすれば、設計が求めている性能を発揮でき、それを自分の目で確かめられること」

文:宮本敬/写真:高島三敬

千葉県建築家協会設立される

6月3日(月)オークラ千葉ホテルにおいて新団体、千葉県建築家協会が設立された。

新協会は、二年程前から千葉県建築設計監理協会とJIA千葉との合併の模索の結果、誕生に至ったもので、会長は、前千葉県建築設計監理協会会長、麓佳正氏が就任した。

新協会の会員は正会員69名、事務所会員30名、賛助会員38名という構成で、前千葉県建築設計監理協会の事務所を引き継いで活動することになっている。

アンケート

=新伝統木工法セミナー開催について=

先年、JSCA千葉総会においても、ご講演を行って頂いた、増田一真先生より標記セミナーについてお問い合わせがありました。

開催する場合、増田先生が講師となって、概略次の要領で開催する事になります。

- ・シリーズ講義：10回程度
- ・内容：伝統木工法の原理を基本に、曲げ系や曲げ剪断系などの抵抗を考慮した木工法と実際の仕口等について
- ・参加費用：参加者数によるが3万円/名以上
 つきましてはJSCA会員の中でこのような研修会への参加希望者がおられれば、広報委員会までご希望をお寄せ下さい。参加希望者が多数おられれば、開催の方向で検討したいと考えています。

ご希望は8月末頃までに、FAXでお寄せ下さい。

連絡先：坂恵技術士事務所 坂恵一巳
 tel 043-279-4610 fax 043-279-4918

講習会の予定

外付け補強製品の説明会を9月末～10月初に予定しています。

研修委員会

(真崎・園部・中川)

JSCA千葉技術委員会議事録抜粋(定例月1回)

<p>技術委員会 委員長 市原嗣久 会場 ●千葉商工会議所 ▲千葉市文化センター(佐藤)</p> <p>第45回 4月5日● (18:00~21:00) 出席、市原委員長他26名 1.「振動解析入門・限界</p>	<p>耐力法入門」講習会(第3回) (株)構造計画研究所</p> <p>第46回 4月26日● (18:00~21:00) 出席、市原委員長他26名</p> <p>1.「振動解析入門・限界耐力法入門」講習会(最終回) (株)構造計画研究所</p>	<p>第47回 5月29日▲ (18:00~20:30) 出席、市原委員長他7名</p> <p>1.だれにもわからない振動解析⑤テキスト「フリーエの冒険」フリーエ級 2.構造設計等</p> <p>第48回 6月26日▲ (18:00~21:00) 出席、市原委員長他6名</p>	<p>1.だれにもわからない振動解析⑥テキスト「フリーエの冒険」フリーエ展開 2.構造設計等</p> <p>第49回 7月24日● (10:00~16:30) 出席JSCA千葉多数 耐震診断・改修(RC造)のための「設計者実力養成コース」講習会、PartVI</p>	<p>技術委員会参加者募集 技術委員会では、定例の勉強会、見学会、技術情報の交換などの活動をおこなっています。ぜひご参加下さい。連絡先 (有)市原建築構造設計事務所 市原嗣久(お気軽にご連絡下さい) TEL 043-252-6174 (TEL・FAX 兼)</p>
---	---	--	---	--

耐震診断・改修(RC造)のための「設計者実力養成コース」講習会開催される
 去る7月24日(水)千葉商工会議所で千葉県耐震判定協議会主催、JSCA千葉後援のもと、午前10時から午後4時30分まで、表記の講習会が開催された。

第1部は「耐震診断基準改正要旨」
 ー改正要旨及びねじれ振動についてー
 千葉大学工学部デザイン工学科、村上 雅也 教授

第2部は「耐震診断基準の解説」

ー主に第二種構造要素についてー
 (株)大林組技術研究所建築振動制御研究室
 関 松太郎 室長

第3部は「改修指針の解説」

ー主に改修の要点についてー
 (有)万建築設計事務所 木村 秀雄 代表取締役

第4部は「適用の手引きの解説」

ー地盤連成を考慮した耐震性判定についてー
 (株)堀江建築工学研究所 太田 勤 所長

地質コンサルタント

当間地質

☆ ボーリング ☆ 平板載荷試験 ☆ スウェーデン式サウンディング ☆

株式会社 当間地質

本 社 千葉市稲毛区長沼町172-71
 〒263-0005 043-250-4699
 柏事務所 柏市十余二 297-396
 〒277-0872 04-7132-2182

編集後記

飯島代表からの提案でもあり、今回からA3版の二つ折り、表裏構成としました。コピー代のコストパフォーマンスは、2枚扱いで済みますが、構成に少し時間がかかりました。7月1日号の予定だったので、いいわけします。

編集後記欄を作りましたが、記事や広告の多いときはそちらを優先します。

次号(10月1日予定)は会員委員会が協力会員の紹介記事を企画しているとのことですから、紙面が充実するかもしれません。広告もよろしくお願いいたします。

趣味的な集まりもいかなと思ひ、囲碁の会を企画してみました。忙しくても碁だけは欠かさない人って他にいるのかな。確か建築士会のA先生は毎日って聞いてますけど。(安田)